

メーデー 名古屋支部

5 月 17 日、名古屋市中区のテレビ塔広場で第 96 回愛知県中央メーデーが開催された。当日はあいにくの雨であったが、テレビ塔広場には各労働組合から約 2 千 2 百人の仲間が結集した。

開会式では連合愛知の可知洋二会長が「世界経済においてはトランプ関税により増税感が増しており、日本への影響も危惧される中、物価上昇を超える賃金の引き上げを行うことで消費を高め経済を成長させることが重要である。本年度春闘では昨年を上回る賃上げを行うことができ、この結果をより全ての労働者へ波及していきたい。また、世界に目を向ければ武力行使により多くの人命が失われており平和あってこそそのメーデー、労働運動であり一致団結し安心社会を目指したい」とあいさつした。

また、大村秀章愛知県知事から来賓あいさつがあり、式典が終了する頃には雨足も弱まり、その後のフェスティバルでは田植えや防災体験などの体験型イベントが開催され、多くの子ども連れで賑わい、キッチンカーや物販には長蛇の列ができた。

会場では生活困窮家庭や福祉施設に届けられる「フードドライブ」が呼びかけられ、組合員や職場から、食品を寄付する仲間であふれ、食品が届けられた人から「人の温もりを感じることができ、うれしかった」と、感謝のコメントが寄せられた。

「海員だより」